



Faculty of
Science and
Technology
Tokushima University

大災害時の業務継続戦略に関する研究

キーワード: 南海トラフ地震, 広域浸水災害, BCP 教授 中野 晋



写真1 東日本大震災(南三陸町防災対策庁舎)



写真2 2014年台風11号(徳島市上八万町)

近い将来, 日本全体に大きな影響を及ぼす南海トラフ地震の発生が予測されています。また, 2015年関東・東北豪雨のように広域浸水災害も頻発しています。こうした災害が発生した場合に, 人の命とくらしを守るため, 自治体, 医療機関, 社会福祉施設は業務を継続する必要があります。子どもの心と体の健康を守るため, 小・中学校などは早期に学校再開することが期待されています。さらに, 地域の復興をささえる建設業や製造業など民間の事業者も大災害時にも早期に事業再開を行う必要があります。

それぞれの組織が災害時に重要な業務を継続できることにより, 地域全体の早期復興が成し遂げられます。

これまでに起こった災害からの復旧過程を調べることを通して, 業種別の業務継続上の課題や対策について検討します。その上で各業種でどのような業務継続戦略をとるべきかを提案するとともに, 支援活動を行っています。

分野: 複合領域

専門: 社会・安全システム科学/防災学

E-mail: nakano.susumu@tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-8965

Fax: 088-656-8017